

事務事業事後評価シート[平成30年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	生活環境部環境政策課		■担当係	環境企画係
■評価事業名称	花いっぱい運動推進協議会補助金			
■事業開始年度	平成3年度			
■評価事業コード	030200 - 023	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	05 誰もが快適に暮らし続けられるまちづくり		
	■基本施策	01 快適な居住環境の形成		
	■施策	03 緑のまちづくりの推進		
■事業の類型	06 負担金・補助金(任意・ソフト事業)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称	北上市環境基本計画、北上市みどりの基本計画			
■事業の目的と概要	市民の環境美化意識の向上を図るための市民運動を支援する。花いっぱい運動推進協議会が行う花いっぱい運動の継承及び環境美化意識の向上を図るなど、市民運動を積極的に推進するため実施する事業に対する補助金を交付する。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成30年度事業計画	平成30年度事業量実績
01	花いっぱい運動推進協議会補助金	協議会→市民	① 会議の開催 総会 1回 役員会 8回 ② 講習会の開催 市民交流プラザ 5回 黒沢尻北、鬼柳地区 各3回 ③ 花苗の配布 223団体 160,000本 ④ 花いっぱいコンクールの実施 ⑤ 市民集会の開催	① 会議の開催 総会 1回 役員会 9回 ② 講習会の開催 市民交流プラザ 5回 黒沢尻北地区、鬼柳地区 各3回 ③ 花苗の配布 222団体 160,000本 ④ 花いっぱいコンクールの実施 地域部門:26団体 職場部門:15団体 学校部門:20団体 優秀花壇見学会:36人参加 ⑤ 市民集会の開催 コンクールの表彰 事例発表:(株)ジャパンセミコンダクター 講演:岩手県立大学島田直明准教授「生物多様性花壇のすすめ」参加者150名

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備考
直接事業費	6,001	6,003	6,001	6,001	
人件費	223	1,352	458	384	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	6,224	7,355	6,459	6,385	

4. 評価指標等の状況

事務事業事後評価シート[平成30年度事業]

指標コード	指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	指標の説明
01	花種子・花苗配布団体数	222団体	219団体	221団体	222団体	地域花壇に植栽する花種子・花苗を希望する団体数222団体
02	協議会主催事業数及び花いっぱいコンクール参加団体	67団体	78団体	68団体	61団体	北上市花いっぱいコンクール参加団体数67団体(地域33、学校18、職場10、ファミリー6)

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

コンクール参加団体は、花の生育状況により参加団体数が変動している。市民には、花を通じ環境美化の意識が向上していると考えられる。

問題点・課題等

花苗の育苗者の高齢化により、育苗者の育成が必要である。花苗代の高騰により、各団体からの花苗配布希望数を確保できず、調整をかけている。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響・貢献度

- 事業の廃止により重大な問題が発生する
- 事業の廃止により何らかの問題が発生する
- 事業の廃止による問題は想定されない

4. 市民生活・企業活動への貢献度

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している
- 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

環境美化の推進を図るために必要である。将来的な担い手不足を見込み、講習会を通じて育成を図っていく。

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了